



Press Release

Date: July 25, 2013

ご挨拶

いま欧米では、市民一人一人が政府や政治に関わり、自分たちの住む地域を良くしていこうという活動が盛んになっています。その動きの一つがCode for America(CfA)という団体です。2012年5月に初めてこのCfAの活動を知ったとき、コードで問題解決を図るという考え方に驚きました。同時に、日本でも同様のことができないだろうかと考え、様々な方々と多くのディスカッションの末、2013年5月7日に Code for Kanazawa(CfK)を設立しました。CfKはアプリやWebのコードを書くという技術的手段を用いて地域問題を解決します。僕らが住む町の課題は僕らで解決していくわけです。”できるだけオープンに、中立で、その地域に住む市民のために活動する”これがCfKの大事なスタンスです。もう他人任せは終わりにしましょう。このCfKの活動を大きく広げ、コードの力でもっと世界をハッピーにしていきたい、そう考えています。

Code for Kanazawa 代表 福島健一郎

Code for Kanazawaとは？

各地域には様々な課題があり、解決するためのコミュニティ(団体)も数多くあります。課題の中には、ITやデザインの力で解決できるものも多くありますが、全てのコミュニティにそのスキル(技術)が備わっているわけではありません。Code for Kanazawa(CfK)は、市民の課題を集め、その課題を整理・分析した上で、メンバーが実際に課題解決となるソフトウェアやハードウェア(仕組みや方法)を開発します。

私たちは、デザインをして、ソフトウェアコードを書き、課題を解決するサービスを完成させるのです。さらに、そのサービスを提供し続ける力も持ちます。

CfKは市民のための組織です。行政や民間企業の影響を受けずに中立・公益の立場から物事を判断するよう心がけています。

■ 解決までの仕組みと流れ

1 問題提議

地域が抱える困っている事や、こういう事をやりたいなど身の回りにある問題や課題を発見。



市民

2 投稿

webの登録フォームより問題・課題を投稿してください。



3 整理分析

CfKメンバーが課題を整理し分析します。



CfK

4 整理分析中

進行中の課題はweb上の“MISSION”にポストされます。



5 開発

プログラマーやデザイナーの技術者が問題解決に導く仕組みや方法を作ります。



6 運営

出来上がったサービスは強固な運営体制で保持していきます。

